

物流マッチングイベント「ロジスク」に、ぜひご参加ください！

ワークショップによる
物流マッチングイベント

ロジスク



「ロジスク」とは

北海道の「運べない不安」を解消するため、発・受荷主、物流事業者、倉庫事業者の皆様が、信頼できるパートナーとつながるきっかけとなる物流マッチングイベントです。

5つの行政機関、北海道トラック協会、北海道商工会議所連合会、学識者で構成するロジスク実行委員会が、中立の立場で主催しています。

2026「ロジスク」開催日程

7/23(木) 函館北洋ビル(終了)

8/20(木) 旭川市

大雪クリスタルホール

9/17(木) KKSコンベンションセンター

10/15(木) 札幌第一合同庁舎2階講堂

※開催時間はいずれも13:30～16:30

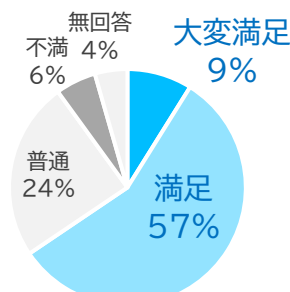
広がる「ロジスク」の輪

多数の企業が参加



2023～2025年の3年間で、延べ300以上の企業が参加

高い満足度



2025年は2/3の参加企業が「大変満足」又は「満足」と回答

一方で、「荷主等の参加がほしい」、「参加者が少ない」との声も…

信頼できる物流パートナーとつながり、そしてその輪が広がる。それが、「運び続ける」北海道の未来を支えます。

発・受荷主、物流事業者、倉庫事業者の皆様も、ぜひ2026「ロジスク」への参加をお願いします！



ぜひご参加ください！

事例
1

「トレーラーヘッド」の交換による中継輸

ドライバーの労働時間を短縮！

マリネックス(株)

小樽～北見間、苫小牧～北見間をそれぞれ輸送していたが、長距離輸送となりドライバーの労働時間短縮が必要に

苫小牧埠頭(株)の帯広エリア拠点で同社との中継輸送が成立。ドライバーの労働時間の短縮につながった

北見

帯広

肥料等

農産物

ヘッド交換

帯広エリア

苫小牧

苫小牧埠頭(株)

中継輸送の実施により新たな顧客を獲得

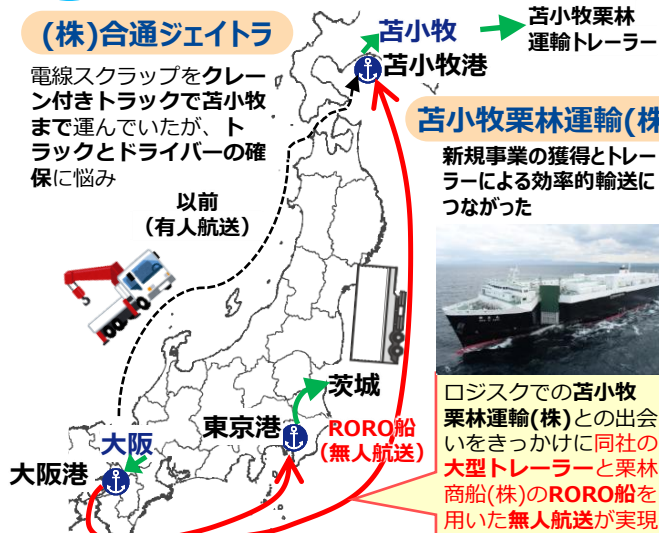
事例
2

大型トレーラー×RORO船無人航送
効率的な輸送を実現！

(株)合通ジェイトラ

電線スクラップをクレーン付きトラックで苫小牧まで運んでいたが、トラックとドライバーの確保に悩み

以前
(有人航送)



苫小牧 苫小牧栗林運輸(株)

新規事業の獲得とトレーラーによる効率的輸送につながった



ロジスクでの苫小牧栗林運輸(株)との出会いをきっかけに同社の大型トレーラーと栗林商船(株)のRORO船を用いた無人航送が実現

事例
3

鉄道にモーダルシフト
ドライバー不足に対応しCO2も排出削減

(株)MLS

札幌から函館まで、トラックだけで輸送していたが、ドライバーの人手不足と労働時間の短縮に悩み

トラック

鉄道

倉庫

札幌貨物ターミナル駅

函館貨物駅

倉庫

ロジスクでの日本貨物鉄道(株)との出会いをきっかけに輸送の大部分を鉄道輸送にモーダルシフト。ドライバー労働時間の短縮とCO2の排出削減につながった。

日本貨物鉄道(株)

新規事業の獲得と貨物の積載率の向上につながった

